エコアクション２１　2023

環境経営レポート

(取組期間　令和5年8月～　令和6年7月)

株式会社　新　栄

令和6年8月31日作成

目　次

1　組織の概要　・・・1

2　組織の環境経営方針　・・・2

3　実施体制　・・・3

4　環境経営目標　・・・4

5　環境経営計画　・・・5

6　環境経営目標の達成状況　・・・6

7　環境経営計画の実施状況　・・・7

8　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無　・・・8

9　代表者による評価と見直し・指示　・・・8

1．組織の概要

１．　事業所名及び代表者名

株式会社　新栄

代表取締役　川原田　浩二

２．所在地（認証・登録の適用事業所）

本社：　　〒８４０－０２０１　佐賀県佐賀市大和町大字尼寺1139-10

作業所：　　佐賀県佐賀市大和町大字久池井2057-1

３．環境保全関係の責任者及び連絡先

環境管理責任者　：　　中山　泰宏

連絡先　：　ＴＥＬ　０９５２－６２－３３１６　ＦＡＸ　０９５２－６２－２１３０

Ｅ－ｍａｉｌ　：　yamato@shin-ei-saga.co.jp

４．事業の内容　　土木工事、　とび・土工工事、
舗装工事、　しゅんせつ工事、水道施設工事

５．設　立　　平成１５年 9月 １８日　有限会社として設立
平成１８年 7月 １３日　株式会社に商号変更

６．事業の規模

	単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	百万円	235	234	253	407
従業員数	人	9	10	10	10
床面積	㎡	49.16	49.16	49.16	49.16

７．従業員　　10名（令和5年7月現在）

８．事業年度

８月１日～翌年７月３１日

９．認証・登録の対象範囲

1）事業活動　：建設業
（土木工事、とび・土工工事、舗装工事、しゅんせつ工事、水道施設工事）

2）対象事業所：　本社、作業所

3）対象範囲　：全組織・全活動

2. 環 境 経 営 方 針

【基本理念】

当社は、土木・建設業を主な事業とし、その総ての事業活動について、
地球環境の保全を経営の最重要課題と位置づけ、自然環境との調和・
共生に配慮し、循環型社会の構築に努めます。

【行動指針】

当社は、佐賀県地域を中心に事業を展開する中で、事業活動における
環境への影響を理解し、自ら責任を持ち、社員一丸となって、エコアクション
２１環境経営システムを構築・運用し、環境経営の継続的な改善に努めます。

以下の環境への取組を積極的に推進します。

１．環境関連法規制とその他要求事項を順守します。

２．環境経営目標を定め、定期的に見直し、継続的改善と汚染の予防に努めます。

３．継続的な環境への負荷の削減に努めます。

（1）二酸化炭素排出量削減の為、省エネルギーを推進します。

（2）廃棄物の適正な処理とリサイクルの促進に取り組みます。

（3）省資源に努め、使用する資材の無駄を減らすことに取り組みます。

(４)水資源の節水に努めます。

(5)環境に配慮した施工を心がけます。

４．地域社会との環境コミュニケーションを通じて環境保全に寄与します。

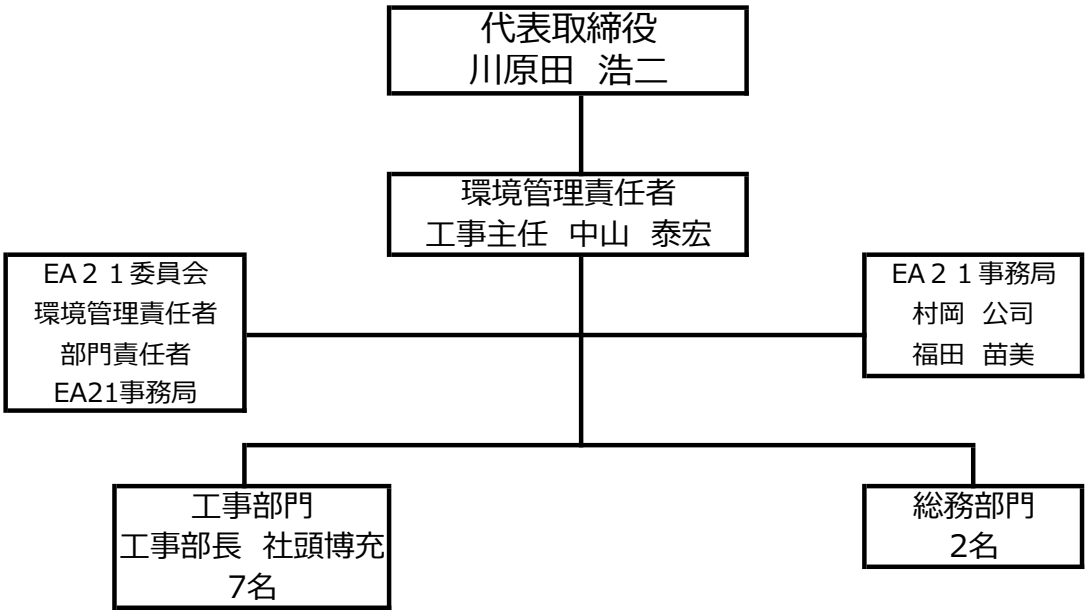
５．　この環境経営方針は、教育や日常活動を通じて全従業員に周知徹底するとともに、
環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を
図ります。

令和5年8月1日

株式会社 新　栄

代表取締役　　川原田 浩二

3.実 施 体 制



役 割 分 担 表

所　属	役割・責任・権限
代表取締役	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、ＥＡ２１事務局員を任命する ・ＥＡ２１全体の取組状況に関し評価と見直し・指示を実施する
環境管理責任者	・ＥＡ２１ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる ・環境経営目標、環境経営計画を作成する ・３か月に１回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する ・上記の結果を代表者に報告する
ＥＡ２１委員会	・3ヶ月に１回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する。
ＥＡ２１事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21実行委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境経営目標、環境経営計画書原案のの作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4.環境経営目標

（単年度及び中長期目標）

取組期間　8月～次年度7月

環境目標	項目		区　分	単位	基準値 令和2年度	令和3年度 目標 １％削減 令和3年8月～	令和４年度 目標 ２％削減 令和4年8月～	令和５年度 目標 ３％削減 令和5年8月～
二酸化炭素排出量の削減			全体	kg/Co2	129,679	128,382	127,085	125,788
	①	電力量	事務所	ｋｗｈ	10,704	10,597	10,490	10,383
	②	ガソリン	現場	L	5,729	5,672	5,614	5,557
	③	軽油	現場	L	41,772	41,354	40,937	40,519
	④	灯油	事務所	L	1,401	1,387	1,373	1,359
廃棄物排出量削減	一般廃棄物		事務所・現場	ｋｇ	960	950	941	931
	産業廃棄物		現場	ｋｇ	285,652	282,795	279,938	277,082
総排水量の削減	水道量		事務所	㎥	60.0	59.4	58.8	58.2
環境に配慮した施工	騒音・振動苦情		現場	件	0	0	0	0

※　購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.479-ＣＯ2/ｋＷｈ
（九州電力R2調整後排出係数）を使用した。

※　化学物質の使用は行っていない

4.環境経営目標

（単年度及び中長期）

取組期間　8月～次年度7月

環境目標	項目		区　分	単位	基準値 令和5年度	令和6年度 目標 １%削減 令和6年8月～	令和7年度 目標 ２%削減 令和7年８月～	令和8年度 目標 ３%削減 令和8年８月～
二酸化炭素排出量の削減			全体	kg/Co2	92,176	91,254	90,332	89,411
	①	電力量	事務所	ｋｗｈ	6,819	6,751	6,683	6,614
	②	ガソリン	現場	L	7,231	7,159	7,086	7,014
	③	軽油	現場	L	26,775	26,507	26,240	25,972
	④	灯油	事務所	L	1,416	1,402	1,388	1,374
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減		事務所・現場	ｋｇ	900	891	882	873
	産廃再資源化率向上		現場	%	100%	100%	100%	100%
総排水量の削減	水道量削減		事務所	㎥	54.0	53.5	52.9	52.4
環境に配慮した施工	騒音・振動苦情		現場	件	0	0	0	0
環境地域貢献	地域清掃活動		事務所・現場	件	12	12	12	12

※　購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.406-ＣＯ2/ｋＷｈ
（九州電力　2023年　調整後排出係数）を使用した。

※　達成率（%）　＝ 目標 / 実績
判定　○：９８%以上　△：９０%～９８%未満　×　９０%未満

※　化学物質の使用は行っていない

5. 環境経営計画　（令和5年度）

1．二酸化炭素排出量の3%削減

取組期間を↔で入れる

取組目標		サイト区分	責任者	活動項目		担当者	スケジュール			
							8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
(1)	電気使用量の3%削減	事務所	福田	①	エアコンの温度設定を決め、実行する	福田	↔	↔	↔	↔
				②	不要な電気はこまめに消す	福田	↔	↔	↔	↔
				③	昼食時間の消灯の徹底	福田	↔	↔	↔	↔
(2) (3)	軽油・ガソリン・灯油使用量の削減（3%）	現場	中山	①	軽油重機の適正出力管理、　　空運転防止など	中山	↔	↔	↔	↔
				②	ガソリンエコドライブの推進 アイドリングストップの実行	中山	↔	↔	↔	↔
				③	灯油（暖房燃料）　適正温度の設定、運転時間の管理	福田		↔	↔	

2．廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト区分	責任者	活動項目		担当者	スケジュール			
							8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
(1)	一般廃棄物排出量(その他可燃ごみ)の3%削減	事務所	福田	①	事務所、作業所、工事現場における分別排出の徹底	福田	↔	↔	↔	↔
				②	事務用紙の排出削減 ミスコピーの防止・社内文書の裏紙使用徹底 ・両面印刷の徹底	社頭	↔	↔	↔	↔
(2)	産業廃棄物の 削減（3%）	現場	中山	①	材料の使用数量を再確認し、ロスを少なくする	中山	↔	↔	↔	↔
				②	残土等の再利用を考える	中山	↔	↔	↔	↔

3．水使用量の3%削減

取組目標		サイト区分	責任者	活動項目		担当者	スケジュール			
							8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
(1)	水使用量の3%削減	事務所	福田	①	水の使用場所には節水シールを貼る。	福田	↔	↔	↔	↔

4.環境に配慮した施工環境に配慮した施工

		サイト区分	責任者	活動項目		担当者	スケジュール			
							8～10月	11～1月	2～4月	5～7月
(1)	環境に配慮した施工環境に配慮した施工	現場	中山	①	近隣への騒音・振動に配慮する	社頭	↔	↔	↔	↔
				②	着工前現地調査の実施		↔	↔	↔	↔
				③	地域の環境保全活動に関するボランティア 要請に参加する。	中山	↔	↔	↔	↔

６．環境経営目標 達成状況　（令和5年度）

取組期間　8月～次年度7月

環境目標	項目		区　分	単位	基準値 R2年度	令和5年度 目標 3%削減 令和4年8月～	令和5年度 実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量の削減			全体	kg/Co2	129,679	125,788	92,674	135.7%	
	①	電力量	事務所	ｋｗｈ	10,704	10,383	6,819	152.3%	○
	②	ガソリン	現場	L	5,729	5,557	7,231	76.9%	×
	③	軽油	現場	L	41,772	40,519	26,775	151.3%	○
	④	灯油	事務所	L	1,401	1,359	1,416	96.0%	△
廃棄物排出量削減	一般廃棄物		事務所・現場	ｋｇ	960	931	900	103.5%	○
	産業廃棄物		現場	ｋｇ	285,652	277,082	517,795	53.5%	×
総排水量の削減	水道量		事務所	㎥	60.0	58.2	54.0	107.8%	○
環境に配慮した施工	騒音・振動苦情		現場	件	0	0	0	0	○

※　購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.479-ＣＯ2/ｋＷｈ
（九州電力R2調整後排出係数）を使用した。

※　達成率（%）　＝ 目標 / 実績
判定　○：９８%以上　△：９０%～９８%未満　× ９０%未満

※　化学物質の使用は行っていない

７．環境経営計画の実施状況　（令和5年度）

１．二酸化炭素排出量の3%削減

取組目標		サイト区分	責任者	活動項目		評価	取組概要及び今後の取組み
(1)	電気使用量の3%削減	事務所	福田	①	エアコンの温度設定を決め、実行する		・実行できたと思う。少しずつ社員にも「エコ活動」に対する意識が高まっているように感じる。 ・次年度も活動項目を継続し、1%削減を目指す。
				②	不要な電気はこまめに消す		
				③	昼食時間の消灯の徹底		
(2) (3)	軽油・ガソリン・灯油使用量の削減（3%）	現場	中山	①	軽油重機の適正出力管理、　　空運転防止など		・過積載防止や車両点検・アイドリングストップなど行った結果実行できたと思う。 暖房の設定温度管理を、今後も注意して行く。 ・次年度も活動項目を継続し、1%削減を目指す。
				②	ガソリンエコドライブの推進 アイドリングストップの実行		
				③	灯油（暖房燃料）　適正温度の設定、運転時間の管理		

２．廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト区分	責任者	活動項目		評価	取組概要及び今後の取組み
(1)	一般廃棄物排出量(その他可燃ごみ)の3%削減	事務所	福田	①	事務所、作業所、工事現場における分別排出の徹底		・両面コピーを積極的に行うことができ、大きくコピー枚数の削減が出来た。紙、ペットボトル、段ボール等を分別し、リサイクルに務めることが出来た。 ・次年度も活動項目を継続し、1%削減を目指す。
				②	事務用紙の排出削減 ミスコピーの防止・社内文書の裏紙使用徹底 ・両面印刷の徹底		
(2)	産業廃棄物の 削減（3%）	現場	中山	①	材料の使用数量を再確認し、ロスを少なくする		現場の件数及び工種により数量の変動は有るが各現場において産廃の分別は概ね出来た。 ・次年度も活動項目を継続し、1%削減を目指す。
				②	残土等の再利用を考える		

３．水使用量の3%削減

取組目標		サイト区分	責任者	活動項目		評価	取組概要及び今後の取組み
(1)	水使用量の3%削減	事務所	福田	①	水の使用場所には節水シールを貼る。		本社での水道水の削減については概ね実行されている。雨水、河川水については使用量について、今後注視していく。 ・次年度も活動項目を継続し、1%削減を目指す。

４.環境に配慮した施工環境に配慮した施工

		サイト区分	責任者	活動項目		評価	取組概要及び今後の取組み
(1)	環境に配慮した施工環境に配慮した施工	現場	中山	①	近隣への騒音・振動に配慮する		・重機、車両のアイドリングを少なくした ・近隣への騒音・振動に配慮する ・次年度も活動項目を継続し、1%削減を目指す。
				②	着工前現地調査の実施		
				③	地域の環境保全活動に関するボランティア 要請に参加する。		

８． 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無

適用される法規等	適用される事項等(内容)	遵守状況
一般廃棄物の処理 （佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例）	一般廃棄物処分業者への委託	遵守
廃棄物処理法 （建設廃棄物処理マニュアル）	産業廃棄物処分業者への委託処理	遵守
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	排出ガス対策型機械の利用	遵守
騒音規制法	届出及び基準デシベル以下の作業	遵守
フロン類使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	簡易点検の実施	遵守

環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

９.代表者による評価と見直し・指示

■総括
・エコアクション21の取り組みをして、社員の環境に対する意識も向上している。
まだまだ日々の努力の成果が結果に反映出来ていない項目も多いが、今後も継続して目標達成に向けて努力してもらいたい。
■環境目標の達成度について
・早く帰れる時は早く帰ることで、結果的に電気使用量削減につながる今後も継続する。
・継続してエコドライブを徹底する。
・水使用量削減については、今後も継続する。
■環境活動計画実施状況
・基本的にはよく取り組み出来ていると思うので、継続して削減に取り組む。
■教育・訓練実施結果
・今後、定期的(3ヶ月に1回)に実施し、社員の意識を高めて行く。
■見直し項目
・環境経営方針、環境経営目標項目、活動項目については変更せず、社長以下全従業員、新たな気持ちで、真摯に取り組み、PDCAの徹底を図りたい。